

平成30年度 看護部教育体制 (キャリアアップ支援)

ラダーと対象者の目安		到達目標	学習の概要
レベル1	1-① (卒後1年)	<ol style="list-style-type: none"> 看護職の役割を理解できる 社会人・職業人として責任ある行動がとれる 対象者の人権を尊重した態度がとれる 看護実践を行うための基本的な技術が、指導受けながら遂行できる 脳神経外科の基本的な知識・技術が理解できる 主体的に学習する姿勢が身につく 患者・家族の意向を知ることができる メンバーとしての役割を理解し、責任ある行動がとれる 	<ul style="list-style-type: none"> 看護部の基本的責務、看護倫理 対人関係 <ul style="list-style-type: none"> ◎コミュニケーション技術 フィジカルアセスメント 看護基礎技術 <ul style="list-style-type: none"> ◎技術チェックリスト項目 脳外科看護 <ul style="list-style-type: none"> ◎病態の理解と観察 ◎看護の実際 指導看護師と共にICに立ち会う PNS看護方式の理解 電子カルテの使い方
	1-② (卒後2年)	<ol style="list-style-type: none"> PNSを理解し、パートナーシップに基づいて業務が遂行できる <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー・メンバーと連携・協働して安全に業務が遂行できる 基本的な看護がマニュアルに沿って実施できる 脳神経外科看護の基本的な知識・技術が実践できる 指導を受けながら看護過程を理解し、看護の展開ができる ICの意味と看護の役割を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> PNSの理解を深める 看護基礎技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> ◎技術チェックリスト項目 実践した脳外科看護を振り返り、レポートにまとめる 看護過程を復習し、それに基づいた看護の展開をする <ul style="list-style-type: none"> ◎ケーススタディ 先輩看護師の指導を受けてIC内容を理解し、患者・家族に説明できる 院内留学 <ul style="list-style-type: none"> 手術室・主たるOP見学 <ul style="list-style-type: none"> ◎開頭術 ◎血管内手術
レベル2	卒後3年	<ol style="list-style-type: none"> PNSを理解し、行動できる リーダーの役割を知る 自己の責任において、自立して看護実践ができる ラダー1-②、I-①の育成 患者や家族の意向を看護に活かせる 	<ul style="list-style-type: none"> PNSの理解を深める <ul style="list-style-type: none"> ◎補完の4重構造の理解 リーダー業務を指導を受けながら行う スキルアップのための自己学習 指導者としての関わりを実践する ラダー1-②またはラダーI-①の看護師を1名担当し指導的立場で1年間関わる 患者、家族の思いを理解する
レベル3	卒後4～5年	<ol style="list-style-type: none"> リーダーとしての役割を理解し、自部署でリーダーシップが取れる 看護実践において、ロールモデルとして後輩育成ができる PNSにおけるマインドの理解を深め、自部署でパートナーシップを実践しPNSの成熟に貢献する 患者や家族の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップやPNSマインドについて理解を深め、実践できる 「ラダー2」の指導のフォローを含む、後輩育成に携わる 看護部の活動に積極的に関わる <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動 ・研究活動 ・役割担当責任者 ICに積極的にかかわり、患者・家族の思いを理解する
レベル4	卒後6年以上	<ol style="list-style-type: none"> 脳神経外科看護師として卓越した看護ができる <ul style="list-style-type: none"> ・ケアの受け手や状況を統合し、ニーズを捉えられる ・種々の技術を選択・応用し看護が実践できる。 組織的な広範囲な活動に参加し役割を担うことができる ケアの受け手を取り巻く多職種力を調整し連携できる PNSに基づいたマインドを身につけ、高いコミュニケーション力を持ち、自部署の人材育成に貢献できる 患者・家族の意志決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる 	<ul style="list-style-type: none"> 師長と連携し、部署の看護レベルの向上を目指す 研究活動、委員会活動のリーダーシップを取る 常に自身がPNSマインドに基づいて業務が遂行されているかを客観視できるよう努め、自部署のマインドシップを上げるための指導にあたる 多職種間の連携が機能するように調整できる 意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる